

秋冷の候、皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様には、平素から交通安全活動のみならず、警察業務の各般にわたり深い御理解と御協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。また、今年の県内の交通事故情勢は、昨年と比べ発生件数、死者数、負傷者数のいずれも減少しており、皆様方をはじめ、交通安全に関わる方々が交通事故防止活動に真摯に取り組んでいただいた成果の現れであり、重ねて御礼を申し上げます。

さて、例年、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）では、「信号機が設置されていない横断歩道での一時停止率」の調査を実施しており、今年も十月十八日にその結果が公表されたところ、当県における一時停止率は四六・九％で、昨年の一・八％から大幅に向上しました。

これもひとえに、会員の皆様方が「歩行者ファースト」の普及・推進活動に積極的に取り組み、各事業所において従業員の方々に対して御指導いただいた結果であるとの認識しており、心から感謝いたします。

しかしながら、今年の全交通事故死者数に占める高齢者の割合が八割に迫る勢いであることや、今般のJAFの調査結果については、見方を変えればいまだ半数以上のドライバーが一時停止しないという実態を示したものであり、依然として厳しい交通情勢が続いております。

例年十二月までの三か月間は、いわゆる薄暮時間帯から夜間にかけて、交通事故が多発する傾向にあり、県警察では「4時からライト&ピカッと反射材運動」を推進しているところであります。

貴協会におかれましては、今後とも会員各位に対し、更なる「歩行者ファースト」の普及・推進活動、そして早目のライト点灯と反射材の利用促進を御指導していただきますようお願いいたします。

末筆となりますが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げます。

令和三年十月吉日

秋田県トラック協会 様



秋田県警察本部
交通部長 三浦 潔